

平成 25 年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

施設名	大和市柳橋ふれあいプラザ
指定管理者	株式会社オーエンス 代表取締役 大木 一雄
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・施設の運営

開館状況：毎週月曜日、月曜日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、当該日の直後の休日でない日、大和市民まつりの日、

年末年始(12月29日～1月3日)及び施設点検日を除く毎日。

開館日数：300日（荒天による臨時休館4日あり（9月：1日、2月：3日））

（平成24年度開館日数305日）

午前10時～午後9時まで開館。

・施設の受付

年間使用者数

総使用者数	64,014人
風呂使用者数	41,185人

・使用者へのサービス

日除け用のゴーヤ棚及び風鈴設置、各浴室・桧風呂脱衣所にすだれ設置、

各脱衣所の足ふきマット及びドライヤー交換設置、

カラオケマイクスタンドのリニューアル、

手指消毒用アルコール設置、加湿器設置、老眼鏡設置、

調理実習室備品としてホットプレート追加設置、携帯カレンダー製作、

持ち帰り用バス時刻表（コミュニティバス・路線バス）製作、

傘の貸し出し、自転車空気入れの貸し出し、浴室鍵ゴム交換など。

・施設の補修、改善

事業用立て看板・転倒注意の看板の作製、談話室靴べら掛けフック取付け、

専用駐車場バリカの補修、サウナ壁面ニス塗り補修、岩風呂脱衣所洗面台下の扉の交換、

各風呂ロッカー修理など。

・自主事業

事業名	開催日時	参加者数
映画会	4月21日(日)14時～16時30分	44人
	8月25日(日)14時～16時	55人
落語会	5月18日(土)15時～17時30分	43人
	10月12日(土)14時～16時15分	61人
料理教室	6月19日(水)10時30分～13時20分	13人
	11月20日(水)10時30分～13時	10人

事業名	開催日時	参加者数
クラフト	7月27日(土)10時～12時15分	14人
～エコ布ぞうり作り～	8月10日(土)10時～12時	12人
秋まつり	9月22日(日)11時～16時	255人
カラオケ発表会	12月7日(土)12時～16時	62人
囃子獅子舞	1月11日(土)15時～16時	81人
将棋大会	2月23日(日)10時30分～16時	42人
囲碁大会	3月23日(日)10時30分～16時20分	31人
感謝デイ	3月30日(日)11時～15時	141人

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・使用者総数は、平成24年度に比べ4,713人(約6.9%)減少しました。
新規に利用者カードを作成した人数は平成24年度が398人、平成25年度が389人でほぼ同数になっています。
- ・風呂の使用者数は、平成24年度に比べ4,262人(約9.4%)減少しました。
例年風呂の使用者数が多い2月に大雪等の荒天が続いたこと及び臨時休館が3日あったこと等も影響していると考えられます。
1日あたりの風呂平均使用者数は137人と平成24年度の149人に比べ12人減少しました。
それに比べ、環境管理センター周辺9自治会と福寿カード利用者数は昨年度とほぼ同数となっています。
- 収入においては、平成24年度に比べ、市内使用者は4,187人減少し、市外使用者は75人減少したことから、337,000円の減収となりました。
- ・会議室等の使用者数は、平成24年度に比べ38人(約0.5%)増加しました。
特に自主事業参加者の合計人数が864人と、平成24年度に比べ240人増加しました。
中でも秋まつりでは、多くの家族連れや子どもたちが訪れ、前年度の約2倍の参加者が集まりました。
収入においては、平成24年度に比べ15,975円減収となりました。有料及び50%免除の申請数は241件で前年度の244件とほぼ同数でした。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	13,970,000	人件費 (指定管理者が雇用した社員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	11,375,025
その他 (マッサージ機利用による収入)	19,550	施設管理費等 (施設の清掃や、保守点検、修繕に支出した金額)	2,118,927
収入計 (①)	13,989,550	支出計 (②)	13,493,952

収支決算 (①－②)	495,598
------------	---------

【収支決算に関する補足説明】

- ・収入については、前年比較で 490 円減少しました。
- ・支出については、前年比較で 122,484 円増加しました。これは、自主事業費や備品修理費等の増加のためです。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 26 年 6 月 24 日に大和市環境審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を使用する者に対し、平等な使用の確保及びサービスの向上が図られたか

【大和市環境審議会の意見】

- ・浴室使用の目的で来館される方に対して、時間帯によっては待っていただくこともあると思いますが、今後も適切なサービスの提供を行ってください。

【管理運営に対する評価】

- ・施設の使用許可事務については、書類審査の結果、条例等に則り適切に行われていることが確認できました。
- ・「映画会」「秋まつり」「落語会」「囃子獅子舞」「将棋大会」「囲碁大会」の自主事業について、館内の案内だけでなく、窓を利用し施設外から見える方法で広報したり、広報やまとへの掲載や周辺の学習センターやコミュニティセンターへポスターやチラシで案内を行い、広く参加を呼びかけました。
- ・館内設置の器具について、初めてでも使用方法がすぐわかるよう、写真入りにするなどわかりやすい案内をしました。
- ・施設の場所が駅から少し離れていることから、最寄バス停の地図を掲示したり、時刻表を作成し、使用者が持ち帰れるようにしました。
- ・各自主事業について、参加者の声を聞くためにアンケートを取り、昨年度のアンケート結果を反映させ、事業の開始時刻の変更をしたり、事業内容に取り入れるなどサービスの向上に努めました。

評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

【大和市環境審議会の意見】

- ・自主事業は、今後も利用者の要望を取り入れた魅力ある事業を展開するとともに、サービスの向上に努めてください。

【管理運営に対する評価】

- ・「落語会」「映画会」「カラオケ発表会」「囃子獅子舞」は前年に続き好評で、参加者も増加しており、恒例行事として定着しています。
- ・「秋まつり」では、より多くの人に楽しんでもらえるようアンケート結果で1番の人気となった射的に加え、新規コーナーを増設するなど、大人も子供も楽しめ、家族で参加できる事業を行いました。
- ・ごみ処理施設に併設されている施設として、ごみの削減や資源の有効活用を考える契機となるよう、クラフトの新規事業として古着や古布を使用する「エコ布ぞうり作り」を実施しました。
- ・調理実習室を利用した「料理教室」は毎回定員を上回る人気事業になっています。
- ・施設の設置目的を踏まえ、今後も市民の健康、福祉に貢献するコミュニティ施設としての事業運営に期待します。

評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか

【管理運営に対する評価】

- ・施設の管理・保守点検等は仕様書に沿って適切に行われました。
- ・施設使用者の中で使用率の高い浴室について、水質検査等の衛生面の管理に力を入れていました。また、シャワーホース等設備の亀裂修繕やロッカーの不具合箇所の改修等、速やかに行っていました。
- ・事業用立て看板・転倒注意の看板の作製、節水や資源の分別についての掲示、座布団カバーの交換クリーニング等を行い、改修、改善についても不具合箇所を速やかに報告するとともに施設課と協力して、適切な管理が行われました。

評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

【管理運営に対する評価】

- ・浴室使用者を中心に傷病者が発生していますが、受付での声かけや掲示物などで注意喚起を行い、又ロビーに設置した血圧計の利用を促したことから、使用者自ら健康管理に気をつけるようになり、浴室での傷病者は減少しました。浴室の巡視時にはサウナの中まで確認したり、声を掛けるなど徹底し、傷病者発生時には適切な対応を行っています。
- ・日赤救急法救急員や応急手当普及員などに認定された従業員を配置するとともに、認定資格の更新や新たに講習会や研修に参加しています。また、毎月緊急呼び出しブザーや館内設置のAEDの点検を行い、事故や災害時に適切、迅速に対応できる体制に努めています。
- ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断しています。また、指定管理者本社経理部門の内部監査員による定期監査の実施など、適正な管理を行っています。